

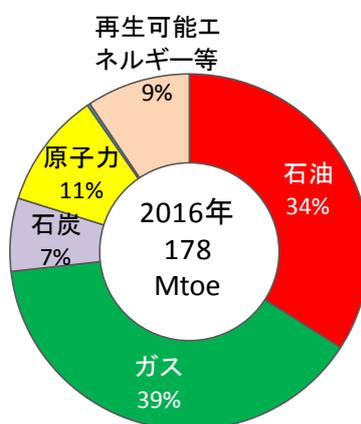
## 2-2 英国

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量(2016年) : 178 百万 toe (日本の 0.42 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2016年) : 2.71 toe (日本の 0.81 倍)
- (3) エネルギー自給率(2016年) : 67%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2015年) : 389.8 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 0.34 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量(2015年) : 6.00CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 0.67 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数(2016年末) : 原油 6.9 年、天然ガス 5.0 年、石炭 17 年

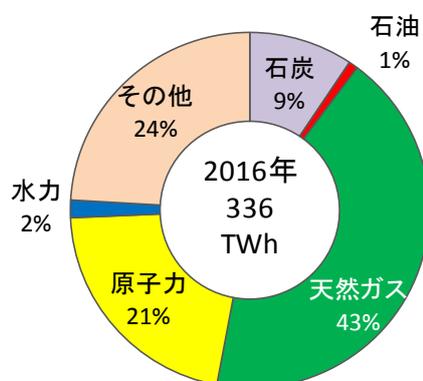
一次エネルギー供給構成 (2016年)



Country: United Kingdom

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2016年)



Country: United Kingdom

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 英国のエネルギー政策担当機関は、ビジネス・エネルギー・産業戦略省 (Department for Business, Energy & Industrial Strategy: BEIS) である。
- 2017年9月現在のBEIS大臣はGreg Clark氏 (閣内相 (Secretary of State)、2016年7月～) が務め、Claire Perry氏 (気候変動・産業担当閣外相 (Minister of State)、2017年6月～)、Richard Harrington氏 (政務次官 (Parliamentary Under Secretary of State)、2017年6月～) がエネルギー・気候変動関連について閣内相を補佐する。

### (2) 基本政策

- 英国のエネルギー・環境政策の長期的な課題は、以下の2つである。
  - 安定的でクリーン、かつ適正な価格のエネルギー供給の確保
  - 気候変動緩和のための国際協力の推進

### (3) 最近の動向

- 2016年5月、「エネルギー法 2016」が成立。同法では、石油・ガス機構 (OGA) に北海での開発を支援する新たな権限を与えること、陸上風力発電の計画に対して地元が発言権を与えること、また、新規陸上風力発電開発への再生可能エネルギー使用義務制度 (RO) 補助金を早期に終了させることが盛り込まれた。
- 2016年7月、Cameron首相の後任にTheresa May内相が就任。May新首相は、エネルギー・気候変動省 (DECC) を廃止し、同時に廃止するビジネス・イノベーション・職業技能省 (BIS) の一部をDECC業務と統合して「ビジネス・エネルギー・産業戦略省 (BEIS)」を新設した。
- 2017年6月、総選挙が実施されMay首相率いる与党・保守党は過半数を維持できず、ハング・パーラメントとなった。保守党は、民主統一党と議会における協力合意を締結。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016年7月、日立製作所子会社の英国 Horizon Nuclear Power社と、日本原子力発電、日立製作所は、Wylfa Newydd 建設計画の許認可段階における協力協定を締結。
- 2017年7月、三菱商事は英国で洋上風力発電から地上に電気を送る海底送電資産の運営事業権を£1.8億で取得した。
- 2017年8月、JOGMECは、伊藤忠商事子会社 CIECO V&C (UK) が12%権益を保有する英領北海海上ライセンス P2170 (20/5b 鉱区および 21/1d 鉱区) における探鉱事業について、出資対象として採択した。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: United Kingdom

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		178 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.71 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.07 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		67 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量(2015年)		389.8 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量(2015年)		6.00 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	7 %
	石油	34 %
	天然ガス	39 %
	原子力	11 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	9 %
(8) エネルギーの輸入依存度		33 %
(9) 石油の輸入依存度		19 %
(10) 輸入原油の中東依存度		3.4 %
(11) 原油の輸入先	第1位	ノルウェー
	第2位	アルジェリア
	第3位	ナイジェリア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA